

北部ケニア干ばつレジリエンス通信 (2013年2月号)

今月のトピック:①平和構築プログラムが開始されました。②水源施設の建設工事と共に、水利組合強化活動も本格的に実施され、各種トレーニングが行われています。③生計多様化:刈り払い事業の為に女性グループへの訓練と鶏/山羊の配布が実施されました。



部族間紛争に対する平和構築プログラム: 牧畜コミュニティの大きな関心事の一つは近隣部族との紛争問題。これを解決する道として、相互理解を促進する為の平和構築活動を本プロジェクトでも開始。写真右下は双方のコミュニティリーダーを介した大人レベルでの会議(ボラ族とガボラ族)の様子。その他写真は子供を介した平和構築活動Children Peace Camp(ガボラ族とレディ族)の実施風景。3-4コミュニティの小学生約300人が参加しました。



井戸の太陽光発電システム導入にかかる水管理研修 (ルビット北郡Kubi Qallo/Shurr地区): 本プロジェクトでは既存のディーゼルポンプに太陽光発電システムを導入し、ディーゼル燃料の大幅な節約を目指します。その分、徴収した水代の適切な管理が必要です。写真右下は水代徴収に係る会計管理についての講義と具体的な領収書の書き方や帳簿付けについて説明をしている様子。左上は地域の水、自然資源、衛生施設等のマッピング作業風景。



ロックキャッチメント工事風景 (ルビット県Lokichura地区)
ロックキャッチメントは概して貯水容量が小さく乾季の利用可能期間が短い。本事業では工事費を抑えつつ大容量の水を貯める為、現況の岩肌を利用した彫り込み式貯水池を採用。これによって乾季利用期間が、現況の2ヶ月間から4ヶ月間に延長されます。



Pipelineシステム工事風景 (ルビット県Lokichura地区)
パイプラインの最末端に新規で建設された貯水タンク。山からの湧水を一旦ここで貯め、効果的に配水する為に必要となります。貯水容量は60m³。上の写真は同一のもの: 左上が建設開始直後の様子、右下が完成間近の様子です。



生計多様化プログラム (ルビット南郡Arapal地区)
生活を安定させる為には、干ばつの被害を受けやすい家畜飼育とは別の形態で現金を手に入れる生計活動を持つ事が肝要です。本プロジェクトでは、女性グループを対象として、各種生計多様化プログラムを実施します。写真左上は生計多様化の為に山羊刈り払い事業のWorkshopに集まった女性グループの人達です。写真右下は、同じく山羊刈り払い事業の為にグループへ配布された山羊とそれを受け取るグループメンバー達です。



生計多様化プログラム: 養鶏刈り払い事業実施風景 (ルビット中央郡Dirib Gombo地区):
生計多様化プログラムの一つ、「養鶏刈り払い事業」を開始しました。各女性グループにつき新しい鶏舎と鶏1-2セットを供与し、グループメンバーの自助努力によって、鶏卵/鶏肉とヒヨコの増殖を図ることとします。グループは初期投資金をグループ内でプールし、これによって干ばつで鶏が全滅しても養鶏の再開が容易に出来る様になります。このようにして、家畜飼育とは別の持続性の高い現金収入手段の確立を目指します。